

3月8日 創世記17章1～27節

【解説と黙想】

## 割 礼

17章において、神のアブラハムに対する契約が再び繰り返される（12、13、15章参照）。契約という言葉が何度も出てくるように、神が契約を結んでくださったことが強調されている。聖書の言おうとする「契約」とは日本語よりもはるかに包括的な言葉であるが、「神が、人間と深い関係を持ってくださること」だと言えるであろう。

契約の祝福の内容が4～8節で明らかとなる。それは「子孫の繁栄」と「土地取得」の約束である。前週の「アブラハムの召命」と重なる部分があるかもしれないが、この二つの約束は改めて子どもたちに確認しておきたい。

契約は、神さまが主体となって結んでくださることであるが、神さまは9節で「だからあなたもわたしの契約を守りなさい」とアブラハムに割礼を命じられる。割礼は身体に刻まれるしるしである。

割礼を命じられたアブラハムは、アブラハムと息子イシュマエルだけでなく、奴隷たちにも割礼を授ける。このように、割礼は命令とともにすぐに実行され、信仰者に刻まれるしるしとして機能していく。

新約聖書（ガラテヤ書など）を読んでいると割礼の否定的な要素が目立つが、旧約における割礼の意義を改めて捉えておきたい。割礼は、「神の民のしるし」である。

苦難の歴史を歩んでいくイスラエルの民たちにとって、割礼はアブラハム契約を繰り返し思い起こし、「神の民」としての自覚を促したであろう。キリスト教会に与えられているしるしは「洗礼」である。洗礼によって、私たちはキリストの教会の一員とされることが公に表される。「洗礼はキリストの割礼」（コロサイ2章11～13節）と表現される。

私たちは自分の置かれている状況や感情によって、信仰が揺らいでしまう。しかし、神の愛、神の契約は変わらない絶対的なものである。割礼も、洗礼も、そのことを思い起こさせる。

目の前にいる聴衆によっては、ここでは洗礼の意味を深く掘り下げて語るべきであるかもしれない。しかしまた、未信者の家庭、教会に来て間もない子どもたちに対して洗礼をどのように伝えるべきであるかは、慎重に問われる必要がある（今回の説教展開例では、洗礼について触れながら、日曜日ごとに神の愛を「思い起こす」ということの二つを後半に述べている）。

17章の15節から21節は、「多くの国民の父とする」という契約内容の具体的現れとして、イサク誕生の予告が記されるが、3月22日のテーマが「イサク誕生」であるので、ここでは特に取り扱わない。（大宮季三）

《参照聖句》 創世記12章1～9節、13章14～17節、15章1～21節、コロサイ2章11～13節

《教理問答》 子どもと親のカテキズム 問1、3、51、52

3月8日 創世記17章1節～27節

【説教展開例】

## 割 礼

◇..... 単元のねらい .....◇

神さまは人間に契約を与えてくださった。私たちの心はあらゆるものに揺さぶられ変化するが、私たちに向けられる神の契約は変わらないことを覚えよう。

### 「アブラハムへの契約」

先週、アブラハムという人が出て来ましたね。

アブラハムさんはある日、神さまの声を聞いて旅に出た人でした。今日の箇所も、神さまがアブラハムさんに語りかけている箇所です。

先ほど読みました聖書の箇所には、何度も「契約」という言葉が出て来ましたね。

「契約」という言葉は、生活の中でみんなが使うことはあまりないかもしれませんね。でも、聖書の中にはたくさんこの言葉が出て来ます。

そして、聖書を理解する上でとっても大切な言葉です。聖書は「旧約聖書」と「新約聖書」の二つに分けることができますが、この「約」という言葉は「契約」という言葉なんですね。つまり聖書に書かれていることを一言でいうと、「神さまが人間に対して契約を結んでくださった！」ということなんですね。

では、神さまが人間と「契約を結ぶ」とは、どういうことでしょうか。それは、神さまが人間と特別な関わりをしてくださる、ということです。聖書に出てくる「契約」、とは「特別な関係を持つ」ということなんですね。

これはとっても嬉しいことなんです。な

ぜかという、人間から見て神さまは、本来はめちゃくちゃ遠い存在だからです。みんなには、会いたい芸能人がいますか？でも、簡単には会えないですね。握手をしたり、お話をしたりすることはとても難しいです。芸能人が住んでいる近くに行ったとしても、なかなかできないですね。たまたま見かけたとしても、友だちと喋るように、親しくお話することはできませんね。

ましてや神さまは、人間ではありません。言葉によってこの世界を造られたお方です。そして、私たち人間をも造られたお方です。私たちから見て遠い遠い存在です。神さまの方から来てくださらないと、私たちは神さまと一切関わりを持つことができません。しかし神さまは、神さまの方から私たちの所に来てくださって、私たちに対して、特別な関係を持つようとしてくださいました。

神さまはアブラハムさんに対して、「契約」「契約」と繰り返しておっしゃいます。つまり神さまはアブラハムさんに対して、「私はあなたと関わりを持つ」「私はあなたと親しくしたい」、とおっしゃってくださっているんですね。

そして神さまは、アブラハムさんに対し

て、二つの約束を与えてくださいました。一つ目は5節に書かれています。「あなたを多くの国民の父とする」。アブラハムさんから子どもが生まれて、その子どもたちがどんどん増えるという約束を与えてくださいました。

そしてもう一つは、8節に書かれています。「このカナンのすべての土地を与える」。神さまはアブラハムさんにたくさんの土地を与える約束をしてくださいました。

自分の子どもが増える、そしてたくさんの土地が与えられる。この二つの約束は、とても大きな神さまからの祝福です。「アブラハムさん、あなたはがんばってがんばって、子どもを増やしなさい！ がんばってがんばって土地を増やしなさい！ がんばりなさい」ではなく、「神さまが」アブラハムさんに、「それを与えます！」と約束して下さったんですね。

神さまはその後、アブラハムに「割礼を受けなさい」とおっしゃいました。「割礼」というのは、男性の大事な部分の皮を切り取ること（年齢によってふさわしい表現を吟味してください）を意味します。イスラエルの男性は皆、この割礼を受けるようになります。23節から26節に、実際にアブラハムが、自分の家族たちに割礼を受けさせたことが記されています。

割礼を受けることによって「イスラエルの一員」「神の民の一員」とされました。割礼をすると肉体に痕が残ります。そして、割礼をした人は、割礼をしたことをいつまでも覚えています。

イスラエルの人たちには、この後たくさ

ん辛いことが起こります。エジプトという国に奴隷にされたり、外国に滅ぼされて、違う国に連れて行かれたり。しかし割礼は「自分たちは神さまから愛されているんだ」「神さまがその昔アブラハムに約束して下さったことは今も、忘れられてはいない」、と思い起こすことができるしるしでした。

私たち人間は、辛いことがあったり、悲しいことがあると、「神さまは私のことを忘れちゃったんじゃないか」「神さまは私のことを愛してくださらないようになったんじゃないか」と不安になります。また、私たちは辛いことがあると、お父さんやお母さんにも怒ってしまうことがあります。自分の気持ち次第で、周りの人への接し方も変わってしまうことがあります。しかし、神さまはそのような方ではありません。「今日は○○ちゃんのことを忘れていた」「今日は○○ちゃんを愛しているけど、明日は○○ちゃんを愛さない」。そんな方ではありません。これまでも、そして今日も、これからも、神さまは私たちを愛し続けて下さっています。

教会では、「割礼」を今もしていますか？今はしていませんね。では、どのようにして教会の一員となるのでしょうか？それが「洗礼式」です。見たことあるかな？「洗礼式」によつて私たちは神の民の一員とされたことが表わされるんですね。

私たちもイスラエルの人たちと同じように、色んな辛いことがあります。でも、「洗礼を受けた」ということが、私たちが神さまを信じて生きていく上で、とても励みになります。「私は神さまによって神の民

の一員とされている」このことを繰り返し繰り返し覚えることができますね。ですから、洗礼を受けることはとても大切なことです。

割礼は、「神さまが私を愛してくださっている」ということのしるしでした。神さまは私たちに対して、きまぐれで気持ちをコロコロ変えて関わるようなお方ではありません。イエスキリストという神の独り子

を与えて、私たちに対して、変わらない愛をはっきりと示してくださいました。私たちは、毎週日曜日、一人ではなく、一緒に教会に集まって「神さまが特別にこの私に関わってくださっている！」このことを確認するんですね。

「神さまの変わらない愛」をいつも思い起こして神さまと一緒に歩いていきましょう。  
(大宮季三)

---

《今週の暗唱聖句》

わたしはあなたとの間にわたしの契約を立て、あなたをますます増やすであろう。

(創世記 17章 2節)

3月8日 創世記17章1節～27節

【幼稚科】

## 割 礼

### ポイント

日常生活の中で、神さまの恵みを忘れず、感謝に生きるための「しるし」として契約を身近に覚える。「約束」と言っても子どもたちが親と約束して頑張る約束ではなく、親が注いでいる愛情を思い起こすこと。そのために目に見える「しるし」として絵を描く。

### 展開例

- ・みんなは、お母さんと約束をしたことがありますか？ どんな約束かな？

(子どもの反応)

- ・おもちゃを買う
- ・遊びに行く、等

最初は特別記憶に残っているような

「良いこと」が出てくる。

- ・他にも、もっといつもお母さんがしてくれることってあるよね。

日常生活の中で「してもらっている」ことにつながるように誘導する。

(子どもの反応)

- ・ご飯を作ってくれる
- ・遊んでくれる

- ・お母さんがみんなのためにたくさんのごことをしてくださっているよね。

- ・じゃあ、今言ったお母さんがしてくれることを絵に描いてみようか。

3月8日 創世記17章1節～27節

【小学科上級・中学科】

## 割 礼

1. 創世記17：1～8を読みましょう。

①神さまはご自分のことを何と言っておられますか？ アブラムにはどうなりなさいと言っていますか？

②神さまがアブラムに契約した二つのことは何ですか？

2. 創世記17：9～14を読みましょう。

①神さまは契約のしるしとして何をお命じになりましたか？

②割礼にはどのような意味がありますか？

3. 創世記17：15～21を読みましょう。

①神さまはサラについてどんな約束をされましたか？

②それについて、アブラハムはどのように反応しましたか？ それはなぜですか？

4. 創世記17：22～27を読みましょう。

①神さまのご命令に対して、アブラハムはどのように答えましたか？